

平成 26 年度 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果
(平成 27 年 3 月 2 日実施)

評価対象	評価項目	自己 評価点	幼稚園としての 反省と改善策	学校関係者 評価点	意見
保険管理	病気の対処法の最新のもの保護者に伝える	A	メール配信システムで多くの情報を送信しすぎないように注意した。	B	園側の配慮もわかるが、前年度のように頻繁に送信してもらいたい保護者もいる。
子育て支援	未就園児教室 子育て相談	B	活動内容よりも、保護者と話すこと、保護者同士をつなげるように配慮したが、こちらの技術不足。研修が必要である。	A	自治会の配布物に子育て支援の手紙が入るようになり、町民も幼稚園の様子がわかり、身近に感じられるようになった。
保護者・地域社会との連携 情報提供	保育の中に地域の人材や環境を生かす	B	園内でのiPhoneによる写真DVD撮影が氾濫し、園児の生活が落ち着かなくなった。保護者に控えるようにしてもらいたい。文でなく対話が良い。 ・造形展では保護者が自由に参加や手伝いをする中で自然に子どもの様子が見られるようにした。	B	年度初めに保護者に伝える。 クラス役員のみが代表してその日の写真なりDVDを撮影するようにしてはどうか。 ・造形展では日頃の教師の配慮がわかり、感謝の気持ちを抱いた。子ども同士で育ち合う姿を発見できてよかった。
保育の計画性	計画と実際の状況との兼ね合い	B	天候不順により園行事、遠足等例年のように運営できなかった。保護者に理解を求めたい。	B	園が子どもを中心に教育していることは十分にわかるが、保護者は不安にもなるため、事前に対応を伝えた方がよい
教育重点目標	子ども自身に取り組める行事を考える	A	夏まつり・合宿・運動会・音楽会等、立派ではないが、現在子どもの育とうとする姿を尊重し、保護者に伝えた。	A	子どもが毎日アイデアを出したり、他の子ども達の様子を嬉しそうに教えてくれた。集団で育っていることを感じた。
	食育	A	自園調理が始まり、配膳等教師も子どもも当初戸惑いがあったが、慣れた。2学期からは3歳児も偏食なく量も増えた	A	自園調理で季節の食材をベストな形で美味しく食べるようになり、保護者の評判も高い。季節の話も子どもの興味を引いている。

*改善点

- ・保護者・地域社会（中沢町自治会・北小校区）との連携を密にする。
お互いに顔の見える関係であればことが起きて信頼関係により対処がしやすい。
- ・保育の計画性—予めこんなことがあるかもしれない、という情報を伝えておくと同時に
その場合どうなるか具体的に伝える。
どうしてそう変更されたかの理由や原因をただ伝えるだけでなく共感できるところもまでもっていく。
- ・教師間での情報の共有・共通理解を深める
若い教諭ならではの発想・活力と経験豊富な教諭の知見、それぞれの良さを生かす。

その他 平成28年度に幼保連携認定こどもになるため、
平成27年度は1学期間園舎の4分の1が改修工事に入る。
在園児の安全管理と活動内容に支障がでないよう、配慮する。

☆平成27年度も一人ひとりの子どもの“今”を大切にするよう、教職員一同努めてまいります
どうぞ、よろしくお願いいたします

平成26年度 事業報告書

1. 収容定員 270名
2. 年度末実員 95名
3. 職員の概要
 1. 園長1・教諭7・事務（教諭兼務）1・用務・運転1
非常勤 保育士（預保育）1・用務運転1
 2. 委嘱 内科医1 歯科医1 薬剤師1
4. 保育日数及び保育時間
 1. 保育日 200日
 2. 保育時間 10:00～14:00（4h）
 3. 預かり保育 7:30～17:30（6h）
 4. 長期休暇中 預かり保育 22日 9:00～16:00（7h）
 4. 園庭開放日 14日
 5. 子育て支援日 16日
5. 休園日
 1. 日曜日及び国の定めた日
 2. 国民の休日
 3. 夏季休業 7/22～8/26（夏季保育 8/5・6 27・28・29）
冬季休業 12/22～1/6
春季休業 3/16～31
6. 管理運営
 1. 給食開始 衛生管理
 2. 園舎の点検・整備
 - * 定期点検実施
 - * 非常階段修理
 - * ペンキ塗装
 3. 園庭・遊具の点検
 - * 木製遊具修理
 - * 遊具配置見直
 4. 教育研究 市・県私立幼稚園協会研修
園内研修・平山許江先生の園内研修
共同研修：山名・富士見幼稚園
：浜松市私立幼稚園協会
 5. イベント 教育講演会・コンサート・人形劇
6. 子育て支援
 - * 自治会便りを通じて子育て情報発信・支援活動提供
 - * 長期休暇における預かり保育実施（盆休み等除く）
 - * 満三歳児保育PR

- * 希望者に園長子育て相談
- * 障害児受け入れ（3才児2名）

7. 教育重点目標

* 新規採用職員育成

在職教職員の年齢層が大変若くなってきたための研修による基礎を固め
研修の機会を増加・強化体制をしいた

* ものづくり

活動全般において基本的な活動

* 生活を組み立てる

日々の連続性が感じられるよう教師の意識づけ。

新人が多いため、基本的には教師自身が園の生活習慣に慣れることが必要

* 食育

給食の準備・配膳・片付けの無理のない運営方法を模索した

子ども達—当初野菜・煮物等慣れるのに時間がかかったが夏以降偏食が改善した
季節の食材を食べる・感謝する

* 自然

河口での生物観察・冒険広場・野菜収穫

8. 法人会議開催報告

平成 26 年 5 月 24 日 評議員会・理事会—平成 25 年度決算
平成 25 年度事業報告

平成 26 年 7 月 27 日 評議員会・理事会 認定子ども整備計画
設計契約

平成 26 年 3 月 3 日 評議員会・理事会—平成 26 年度補正予算
平成 27 年度予算
平成 27 年度事業計画

平成 26 年度決算報告

資金収支計算書

(収入の部)

(支出の部)

生徒納付金収入	34,102,860	人件費支出	39,325,427
補助金収入	27,816,000	経費支出	21,102,698
その他の収入	29,397,990	その他の支出	44,937,565
資金勘定収入	▲4,940,000	資金調整勘定	
前年度繰越支払資金	22,588,874	次年度繰越資金	13,480,034
収入の部合計	118,845,724	支出の部合計	118,845,724

* 幼保連携認定こども園設計料支払・スチームコンヴェクション購入・厨房機器リース

消費収支計算書

(収入の部)

(支出の部)

生徒納付金収入	34,102,860	人件費支出	39,325,427
補助金収入	27,816,000	経費支出	25,502,790
その他の収入	8,156,069	その他の支出	367,034
収入の部合計	53,762,791	支出の部合計	65,195,251

貸借対照表

資産の部	306,627,713	負債の部	47,882,736
固定資産	284,540,006	固定負債	39,413,000
流動資産	22,087,707	流動負債	8,469,736

基本金の部

第1号基本金	402,219,296
第4号基本金	6,000,000
基本金の部合計	408,219,296